

取組3 区民とともに練馬のみどりを守り育てます

練馬区の最大の魅力は「みどりに恵まれた、利便性の高い住宅都市」であることです。これをさらに豊かにし、将来の世代に引き継ぐために、みどりを愛し守り育てる取組を区民とともに進めます。

多くの区民が練馬のみどりに強い愛着を持っている一方、落ち葉や日照を妨げるなどの課題もあります。また、みどりの多くを占める民有地のみどりを個人で守っていくには限界があります。地域活動団体、事業者などの理解と協力を得ながら、区民とともにみどりを積極的に増やします。

公園や民有地のみどりを活かした、みどりのネットワークを形成し、みどりの豊かさを実感できるまちづくりを進めます。

① みどりを守り育てるための方策を区民参加で考え実行します

区には公園や屋敷林、街路樹、農地など、様々なみどりがあります。こうした多様なみどりを、それぞれの特性を活かしながら守り育てていくには、適切な管理が必要です。

区民や地域活動団体、事業者とともに考える区民会議を、平成28年度中に設置し、具体的な行動につなげます。また、区のみどりの現状や、管理に要する経費を分かりやすく伝える資料を作成します。

② みどりを地域で守り育てる仕組みを拡充します

地域のみどりを誰よりも愛しているのは住民です。みどりを適切に管理するためには、多くの住民が参加しやすい仕組みをつくる必要があります。

すでに一部の公園や憩いの森の管理は地域活動団体やボランティアが担っていますが、これをさらに拡大します。また、自ら落ち葉を処理することが困難な高齢者等を支援することが必要です。高齢者等とボランティアをマッチングするなど、新しい仕組みをつくります。

③ みどりの管理の仕方を転換します

すでに公園や街路樹の剪定、遊具の更新などを行う際は、事前に地域にお知らせし、意見を伺ったうえで対応する取組を開始しています。

樹木の剪定は、自然を生かしみどりを増やす見地から、きめ細かく行います。「ねりまちレポーター」からの情報を管理に活用します。

④ 練馬の都市農業を区民とともに支え発展させます

農業は、練馬区のみどりの重要な要素であり、これからの都市生活に欠くことのできないものです。

高齢化や後継者不足等により支援を必要とする農業者が増加している一方で、農業にかかわりたい区民が増えています。区の都市農業を支え、

発展させていけるように、「練馬区農の学校」で、農の理解者、支援者となる農サポーターを育成し、農業者とのマッチングを進めていきます。

また、新鮮野菜の収穫や果樹の摘み取りなどを体験する機会や、農業者と区民がふれあう「ねりマルシェ」などを拡充し、区民の農への理解と関心を深めます。

⑤ 地域ぐるみでみどりの街並みをつくります

区は、沿道での生け垣づくり、花壇づくりやみどりのカーテンの育成など緑化を進める区民に対し、経費等の支援を実施しています。

地域活動団体や区民のもとへみどりのアドバイザーを派遣し、緑化の相談、情報提供や提案を行い、個々の緑化への取組が沿道や街区に広がるよう支援します。